



やまもと

山本よしかず県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

総武本線の利用促進を

減便のダイヤや改正に歯止め

だれもが住み良いと思える八街市のまちづくりに力を注いでいる山本義一県議は、12月定例県議会で登壇し、総武本線の利用促進や本県農業の担い手確保、成田空港の更なる機能強化のための用地確保などについて県執行部に質問しました。総武本線の「特急しおさい」は昨年、減便を伴うダイヤ改正が実施されましたが、これ以上の減便をストップするためにも総武本線の利用促進が急務として、県に市町の取り組みへの後押しを要望しました。

12月定例県議会一般質問



一般質問に臨む山本義一県議

山本議員 私の地元を走る総武本線の「特急しおさい」は、東京と銚子を結ぶ特急列車であり、通勤や観光などに大変重宝されているが、昨年3月に減便のほか、一部の列車が途中の佐倉駅止まりとなるといったダイヤ改正が行われた。このままでは、佐倉駅から以東はさらに減便が行われてしまっているのではないかと危惧している。

おさいを含めた総武本線の利用者を増やしていく取り組みが必要だが、ノウハウが少ない市町だけではこうした取り組みを進めていくことは難しいと思う。そこで、総武本線の利用促進に向けて、県としてどのように取り組んでいくのか。

総武本線の利用促進を図るためには、地元市町が連携して沿線の活性化に取り組むことが重要であり、県では、市町村等を対象とする研修会において、沿線自治体と鉄道事業者が連携した先進事例を紹介するなどをしているところだ。また、県と市町村等で構

成する千葉県JR線複線化等促進期成同盟を通じて、「特急しおさい」を含めた列車の増発や、地域資源を活用した旅行商品の企画などをJRに要望しており、これらの取組を通じて、総武本線の利用促進を図ってまいります。



総武本線の「特急しおさい」

支援をしていただくよう要望する。また、JRが公表した2024年度の地方路線の収支によると、県内では、外房線や内房線などで50億を超える赤字であり、総武本線以外も厳しい状況であることから、県には、例えば、海水浴客に鉄道を利用してもらったもののイベントなど、市町村による利用促進に向けた取組を後押ししていただくよう要望する。

災害への備えフェーズフリー

県民に周知や啓発

山本議員 フェーズフリーの推進についてうかがう。まだ新しい概念であるため県民や企業への認知度を更に高める必要があるが、どのように啓発していくのか。

周知しているほか、児童・生徒にも防災副読本「こども防災」を活用し、防災教育の場などにおいて幅広く紹介しています。本年10月に策定した新たな総合計画においても、平時と災害時を一体として捉えた防災対策を推進して行くことを明記したところであり、今後も、防災研修センターにおける県民や事業者向けの研修などの機会を捉えて、フェーズフリーの啓発に取り組んでまいります。

●千葉県や八街市のご意見、ご要望をお聞かせください
山本よしかず 県議事務所
〒289-1116 八街市中央20-11
TEL.043(440)7070
FAX.043(440)7030

落花生導入150周年

山本議員 千葉県に落花生が導入されて来年150周年を迎えるに当たり、記念事業をどのように進めていくのか。

知事 落花生は、千葉県の収穫量が全国の8割以上を占める本県を代表する農産物であり落花生の生産支援はもとより販路や消費の拡大に取り組んでいくことが重要と考えています。

令和8年は、千葉県に落花生が導入されてから150年の記念の年であり、県では、来年1月から1年間に渡り、県産落花生の魅力発信や消費の拡大を図るため、市町村や民間企業・団体と連携し、記念イベント等の開催やプロモーションなどに取り組むこととしてお

来年、多様なイベント予定

具体的には、年明けから県内各地の幼稚園などで落花生を活用した豆まきや栽培体験を行うとともに、収穫時期を迎える秋には、幅広い世代がゆで落花生など千葉ならではの食べ方を体験できるイベントを開催するなど、落花生をより一層身近に感じてもらい、その美味しさを再認識してもらえるよう、様々な取組を進めていきます。

また、落花生導入150周年の趣旨に賛同する企業・団体を募り、消費の拡大に向けた商品を提案・販売いただくことにより、落花生の多様な魅力を引き出し、今後の更なる振興に繋がてまいります。

成田空港の更なる機能強化 しっかりと用地確保を

山本議員 成田空港の更なる機能強化に向けて必須である用地確保について、県としてどのように取り組んでいくのか。

総合企画部長 現在、空港会社及び国は、今年度末を目標に、用地確保の取組を加速化することとしており、空港会社が滑走路等の用地取得に注力できるよう、県では、周辺道路の用地の取得に協力するなど取り組んでいるところです。

また、空港会社は、空港周辺市町において対話型説明会を開催し、地域住民に向けて拡張事業の意義等を説明しているところであり、県からもエアポートシティ構想など地域づくりに向けた取組を説明しています。

県としては、用地確保の

具体的方策を検討する場である「成田空港滑走路新増設推進協議会」に参画することともに、空港会社が、国とともに用地確保に全力で取り組めるよう、関係市町と連携して、できる限りの協力をしてまいります。

要望 **山本議員** 成田空港は県の経済にとって心臓のようなモノであり、更なる機能強化は、循環する血液、銚子から館山から県内を巡る血液のように、経済の勢いを増すためにも必要不可欠な取組であると思う。空港周辺では、令和10年度末の滑走路供用を意識した動きもあり、県としても、空港会社による用地確保の取組が進むようしっかりと取り組んでいただくことを要望する。

環境生活部長 有害鳥獣による農作物等の被害が深刻化する中、高齢化の進展などにより捕獲従事者が不足しており、捕獲の担い手の確保・育成は喫緊の課題であると認識しています。

このため、県では、今年度の狩猟免許試験の定員を昨年度から25名増員するなど受験機会を拡充するとともに、新人ハンター入門セミナー等により新たな担い手の掘り起こしを進めています。また、今年度から有害鳥獣

捕獲協力隊事業においてより実践的な技術を習得する捕獲コースを新設するなど、人材の育成を図っています。

今後も、狩猟免許試験の定員拡充に向けた検討を進めるなど、より多くの方に有害鳥獣捕獲の担い手となつていただけるよう、確保・育成に努めてまいります。

要望 **山本議員** 狩猟免許試験については、キャンセル待ちが出ており、受験したくてもできない方がいると聞いている。そうした状況を改善していくことも、有害鳥獣捕獲の担い手確保のためには必要と考えるので要望する。

有害鳥獣の捕獲従事者 確保・育成が急務

山本議員 本県農業の持続的な発展を目指す上で、大きな課題となっているのが農業従事者の減少。この問題は、将来的に本県農業の生産基盤を揺るがす恐れがあり、生産力の低下を招くだけでなく、農村地域の衰退にもつながる可能性がある。

農林水産部長 農業者が減少する中、本県の農業を持続的に発展させていくためには、農業が若者の就業

先として選択されるよう、魅力ある産業であること、また、それを若者に理解してもらうことが重要だと考えています。

このため県では、新規就農者への資金の支援などに加え、AIやIoTを活用したスマート農業技術の導

入による生産の効率化や、農産物のブランディング、輸出の促進による収益力の強化などに取り組んでいるところです。

さらに、このような取組を実践する県内の先進事例について、高校生や就農希望者へ紹介するなど、若い

本県農業の担い手確保へ 若者に魅力アピール

世代に本県農業の魅力を広くPRすることにより、就農者の増加につなげてまいります。

要望 **山本議員** 本県の農業が活力ある産業

となり、子供たちが農業をやりたい、子供たちが将来なりたいたい職業を農業と言えるような千葉県づくり、農業づくりをしていただきたい。

また、千葉県農業大学校の校舎等はリニューアルしたが、生活・学習・実習環境を充実させ、入学希望者を増やしていただくよう要望する。

要望 **山本議員** 私の地元である八街市は、人口1万人当たりの犯罪発生件数が、警察署が設置されていない自治体の中で常に上位となっている状況であり、八街市民の安全・安心を高め、住みよい街づくりを推進していくためには、さらなる警察力の強化は必要不可欠。八街警察署の新設による警察力の強化は、我々市民にとつての悲願である。八街市の更なる安全・安心なまちづくりを目指して、八街警察署の設置を早期に実現いただくよう要望する。



議場の自席で再質問をする山本県議

八街警察署新設は 八街市民の悲願

八街警察署の新設による警察力の強化は、我々市民にとつての悲願である。八街市の更なる安全・安心なまちづくりを目指して、八街警察署の設置を早期に実現いただくよう要望する。